



新年特別講演会・懇親会のご案内

2018年5月に第3期「海洋基本計画」が閣議決定され、「新たな海洋立国への挑戦」が計画に掲げられました。今後、海洋の産業利用を促進させるとともに、海洋人材の育成と国民の理解の増進を進めるための海洋政策を推進していく必要があります。本講演会では、3名の講師をお招きし、我が国の海洋政策や海洋産業について、幅広い視点からご講演いただきます。講演会の後には懇親会も予定しておりますので、多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

日 時 : 特別講演会 平成31年1月23日(水) 15:40~17:10
懇親会 平成31年1月23日(水) 17:30~19:30
会 場 : 神戸クリスタルタワー3階クリスタルホール
(住 所) 神戸市中央区東川崎1丁目1-3 (JR神戸駅海側すぐ)
*特別講演会、懇親会共に本会場にて開催いたします。
参加費 : 講演会 無料
懇親会 一般5,000円、学生2,000円

講演題目 : 我が国の海洋政策と海洋産業の現状を考える
講 師 : 中原 裕幸 氏 一般社団法人 海洋産業研究会 常務理事

講演題目 : 海洋産業の振興に向けた神戸市の取り組みについて
講 師 : 馳川 潤哉 氏 神戸市 企画調整局 産学連携担当部長

講演題目 : AUV 開発及び産業化への取り組みについて
講 師 : 阪上 裕志 氏 川崎重工業(株) AUV事業推進部長

申込締切 : 平成31年1月16日(水)
申込み先 : 日本船舶海洋工学会関西支部事務局
問合せ先 TEL : 06-6879-7593 FAX 06-6879-7594
E-mail : k.office@jasnaoe.or.jp

講演題目および内容

講演題目： 我が国の海洋政策と海洋産業の現状を考える

講師： 中原 裕幸 氏 一般社団法人 海洋産業研究会 常務理事

我が国の海洋政策を考える際、節目が三つある。1)1996年の国連海洋法条約（UNCLOS）批准と200海里EEZの設定。2)2007年の海洋基本法の制定。3)同基本法により2018年5月に閣議決定された第三期海洋基本計画である。3)については、第1、2期計画に比べ、第3期計画はそれまでの12の基本的施策を9つの主要施策に再編し、海洋の安全保障、MDA、北極政策を新たに柱にするなど大きく変貌している。我が国の海洋産業については、国が2008-9年実施の調査で約20兆円規模と試算されているが、基本法の幅広の定義を反映したもので、その後、国の調査はなされていない。そこで、現在の海洋産業の規模、洋上風力や深海底資源など今後の主要トピック等について、ともに考えていきたい。

講演題目： 海洋産業の振興に向けた神戸市の取り組みについて

講師： 馳川 潤哉 氏 神戸市 企画調整局 産学連携担当部長

神戸は歴史的にも海洋関連産業が盛んなまちで、神戸港は、平成29年に開港150年を迎えるなど、日本を代表する国際港湾都市であるが、新たな動きとして、海洋分野における産業振興や人材育成に向けた調査・検討を進めている。その中で、北海油田に近接し、世界トップクラスの海洋産業の先進地域である英国アバディーン市に着目し、平成28年度より、現地調査及び自治体間の交流を進めており、平成30年6月には、連携に関する意思確認書を同市と締結した。本講演では、これまでのアバディーン市をはじめとした英国スコットランドとの連携について説明するとともに、今後の取り組みの方向性について述べる。

講演題目： AUV開発及び産業化への取り組みについて

講師： 阪上 裕志 氏 川崎重工業(株) AUV事業推進部長

川崎重工業では、潜水艦建造等により長年培ってきた水中技術を応用して自律型無人潜水機（AUV）及びその要素技術の開発を実施している。2017年には開発した要素技術を搭載したホバリング型AUVをスコットランドにある試験場等で試験する等でその機能の確認を行った。さらに、石油・ガス分野での活用をめざし、海洋設備の検査へのAUV投入について開発を進めることとしている。本公演では、AUVの開発状況と産業化のための川崎重工業の取り組み例について紹介させていただく。

以上